

# 公 共 事 業 再 評 価 調 書

平成17年4月1日 現在

## 1. 事業概要及び事業の必要性

事業名	都市計画道路穴生水巻線(穴生)街路事業		
事業箇所	北九州市八幡西区鷹の巣三丁目から大字穴生		
事業化年度	平成8年度	事業期間	平成8年度～平成22年度
全体事業費	9,400百万円	事業区分	街路事業
関係事業 (他団体等)			
事業担当課	建設局道路部街路課		
事業を必要とする地域の課題・事業目的	<p>本路線は、北九州市八幡西区鷹の巣三丁目から同区大字永犬丸に至る総延長2,950mの都市計画道路穴生水巻線の一部であり、筑豊電気鉄道との立体交差点を含む延長1,010m区間である。</p> <p>現道は、国道3号線とほぼ並行に走る黒崎へのアクセス道路であるが、幅員9mの狭隘区間を有する2車線であるため、交差点付近では慢性の交通渋滞を引き起こし歩行者に対しても危険を及ぼしている状態である。また、筑豊電鉄森下停留所付近では、鉄道と平面交差し、踏み切り部でクランク状の道路線形となるため、朝夕の交通渋滞が特に著しく、本路線沿いには、永犬丸則松土地区画整理事業が施行されているため、現在の2車線では今後さらに増加する交通量に対応が困難な状況となっている。</p> <p>このため、歩車道が分離された4車線の道路を整備し、また筑豊電鉄との平面交差点を立体交差とし、交通状況の緩和を図り、都市部へのアクセス改善と地域住民の利便性と安全性の向上を目指すものである。</p>		
事業内容	<p>八幡西区鷹の巣三丁目～八幡西区大字穴生 道路延長 1,010m 道路幅員 26m(標準部) 用地買収 23,448㎡</p> <p>高齢者、車椅子の方が安全に歩行できるように3.5m×2の歩道を整備し、車との緩衝帯として1.5m×2の植樹帯を確保。</p> <p>主要地方道有毛引野線の穴生交差点に右折レーンと直進・左折レーンを確保。</p> <p>高架橋部に沿道環境を考慮し、遮音壁を設置。</p>		

## 2. 事業費用内訳

(単位：百万円)

		総事業費 (計画)	～H15 (決算額)	H16 (決算見込)	H17 (予算額)	H18 (計画)	H19以降 (計画)
事業費	工事費	3,606	134	190	377	581	2,324
	用地・補償費	5,064	4,758	128	178	0	0
	調査費等	730	503	45	48	29	105
	計	9,400	5,395	363	603	610	2,429
財源内訳	一般財源	3,750	2,458	170	125	200	797
	国庫支出金	3,750	2,458	170	125	200	797
	県支出金						
	地方債	1,900	479	23	353	210	835
	その他						

## 3. 事業進捗率

		～H15	H16	H17	H18	H19
計画進捗率	終了予定22年度	57%	61%	68%	77%	84%
実績進捗率	終了予定22年度	57%	61%	68%	77%	84%
内訳	工事	4%	9%	19%	36%	52%
	用地買収	94%	96%	100%	100%	100%
	調査	78%	83%	91%	93%	94%
事業進捗状況及び見込み	<p>用地買収は平成17年度末までに完了予定 平成20年度までに2車線(下り線)を暫定供用し、平成22年度までに完成させる予定である。</p>					

## 4. 事業の投資効果

4車線の整備により、開発の進む則松・永犬丸地域と副都心である黒崎への連絡強化が図れ利便性の確保ができる。

筑豊電鉄森下電停部の立体交差化により、踏み切り部の交通渋滞の緩和が図れ、安全性が確保できる。

歩車道分離の歩道拡幅及び新設により、歩行者の安全性が確保される。

本路線整備により、主要地方道有毛引野線よりの右折が可能となり有毛引野線の渋滞緩和も図れる。

費用便益費(事業全体) B/C = 1.96

(残事業) B/C = 5.81

## 5．地元合意形成の状況

地元住民には、本路線による利便性の向上や黒崎副都心部への連結強化、踏み切り部の安全性確保について理解を頂いており、用地買収もほぼ完了していることから本事業の早期完成が望まれている。

## 6．事業を巡る社会情勢の変化等

則松・永犬丸地域での住宅および大型商業施設の整備が進み、黒崎副都心部へのアクセス道路として本路線部では、交通量が増加している。

## 7．コスト縮減又は代替案の可能性

コスト縮減については、本事業で発生する建設発生残土を他事業の工事に有効利用する計画であり、できる限りのコスト縮減に努めている。

代替案の可能性については、本事業の用地買収の進捗や本事業への地元住民の理解を考えると従来どおりの事業を進めて行くことが適切である。

## 8．見直し（縮小・休止・廃止・事業期間の延長等）した場合の影響

用地買収は96%完了しており、河川橋梁の拡幅及び平面部の拡幅工事を行っており、現時点での見直しを行った場合、道路の渋滞、買収済み事業用地の管理問題及び踏み切り部の安全確保問題について地元より強い反発が予想される。

## 9．事業担当部局の考え方

本事業は、開発が進む則松・永犬丸地域と副都心である黒崎への連絡強化を図るためにも重要な路線である。また、地域住民の利便性と安全性の向上が図れる路線であり、この路線の果たす役割は非常に大きく、今後も早期完成に向け積極的に継続していく考えである。